

中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の検証を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和4年12月20日

提出者

14番 藪原 太郎

13番 山本 あつし

22番 山本 ひとみ

武蔵野市議会議長 土屋 美恵子 殿

中学校英語スピーキングテスト（E S A T - J）の検証を求め
る意見書

東京都教育委員会は民間事業者と協定を結び開発・実施する中学校英語スピーキングテスト（以下「E S A T - J」という。）の結果を、東京都立高等学校入学者選抜（令和5年度入学）に反映させる予定としています。

しかし、令和4年11月27日に実施のE S A T - Jについては、不受験の生徒に筆記試験で同じ点数を取った生徒の平均値を仮得点として付与するため不公平、採点者や採点の詳細は企業秘密とされブラックボックス、実施事業者がそっくりのテストを販売している、生徒や保護者への周知不足、実施体制の混乱、試験会場までの交通費負担、など多くの瑕疵や問題点が指摘されています。

また、多くの保護者、大学教授など有識者から「見直すべきである」との声が上がっており、E S A T - Jの結果を東京都立高等学校の入学者選抜に使うことへの疑問が指摘されています。

よって、武蔵野市議会は、来年度以降の東京都立高等学校入学者選抜で実施予定のE S A T - Jについて、検証を行うことを強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年12月 日

武蔵野市議会議長 土屋 美恵子

東京都知事
東京都教育委員会教育長 } 宛て